



2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 パ ワ ー エ ッ ク ス

代 表 者 名 取締役 代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕

(コード番号：485A 東証グロース市場)

問 合 せ 先 執行役コーポレート領域管掌 藤田 利之

(TEL：03-4400-7296)

パワーエックスとハイレゾ、GPU データセンター 併設蓄電システムの活用に向けた協業検討開始に関するお知らせ

当社と、GPU 専用データセンターを全国で運営する株式会社ハイレゾ（本社：東京都新宿区、代表取締役：志倉 喜幸）は、2026 年 7 月 15 日付で、GPU データセンターおよび AI コンピューティング基盤を支えるエネルギーインフラに関する協業検討の覚書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

生成 AI の普及に伴い、AI 開発に欠かせない GPU データセンターの整備が急速に進んでいます。一方で、GPU サーバーの稼働には大規模な電力を消費することから、電力系統の空き容量不足や電力コストの高騰が課題となっており、電力インフラと演算基盤を一体で捉えた設計・運用の重要性が高まっています。

こうした背景を踏まえ、両社は主に次の 2 つの領域で協業の検討を開始します。

1. GPU データセンター併設蓄電システム（BESS）の活用

データセンターに併設する蓄電システムを活用した電力コストの最適化や電力市場での運用に加え、非常用電源をはじめとするデータセンターのレジリエンス向上への活用可能性について、経済性や設備設計を含めて検討します。

2. GPU データセンター事業における連携

両社の営業・マーケティングにおける連携、案件や設置候補地の共同開拓、インフラ投資家・金融関等との連携など、GPU データセンター事業の拡大に向けた協業を検討します。

ハイレゾは、2019 年より AI 開発に特化した GPU データセンターを運営し、GPU クラウドサービス「GPUSOROBAN」を提供しています。これまで石川県・香川県・佐賀県内の 5 カ所で、地方の廃校をはじめとした遊休施設を利活用するなどしてデータセンターを開設しました。地域の特性を活かした独自の建設ノウハウで環境負荷を抑えた運営を行い、GX を推進しています。また、デジタルインフラを整備し国内経済成長を促進させるとともに、データセンターを地方分散させることで地方創生にもつなげる政府の構想「ワット・ビット連携」に貢献しています。

パワーエックスは、国内で開発・製造する蓄電システムの提供に加え、アグリゲーションや市場取引・小売供給等の電力事業を通じて、AI 時代の電力需要を支える強靱なエネルギーインフラを構築し、我が国のエネルギー自給率向上に貢献してまいります。

相手先の概要

(1)	名 称	株式会社ハイレゾ
(2)	所 在 地	本店：佐賀県東松浦郡玄海町諸浦 106-1
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 志倉 喜幸
(4)	事 業 内 容	GPU 専用データセンターの運営、 GPU クラウドサービス「GPUSOROBAN」の提供
(5)	資 本 金	100 百万円
(6)	設 立 年 月 日	2007 年 12 月
(7)	大株主及び持株比率	開示の合意を得られていないため記載しておりません。

※本資料に記載の協業内容は、本覚書に基づく検討段階のものであり、今後の協議により変更となる可能性があります。本覚書の締結が当社の業績に与える影響については、現時点では未確定です。今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかに開示いたします。

以上